

Creative Support

技術の架け橋

地域に愛されるセンターを目指して
鳥取県中部地震の復興、そして福興を目指して



(天神川河川防災ステーション)



(ドローン撮影)

平成 29 年度 業務案内

公益財団法人 鳥取県建設技術センター



鳥取県倉吉市 白壁土蔵群
(国重要伝統的建造物群保存地区)



ごあいさつ

公益財団法人鳥取県建設技術センター

代表理事 山 田 和 成

鳥取県建設技術センターは、昭和57年4月に設立され、建設資材の各種試験及び調査研究、建設事業に従事される技術者等への技術研修、公共工事等に関する積算補助等の技術支援業務及び災害復旧事業の支援、各種建設情報の提供等を行っています。

更に平成14年度からは建設発生土の適正な処分及び有効活用業務にも取り組むなど、公共事業の円滑な執行と建設業等の発展のために活動して、今年で35年を迎えました。

近年、建設行政を取り巻く環境は、急速に進行する道路・橋梁等の社会資本ストックの老朽化や、突発的な自然災害など、非常に厳しい時代を迎えています。

本県におきましても平成28年10月21日にマグニチュード6.6の中部地震により、住宅、下水道等の公共施設に被害が発生しました。

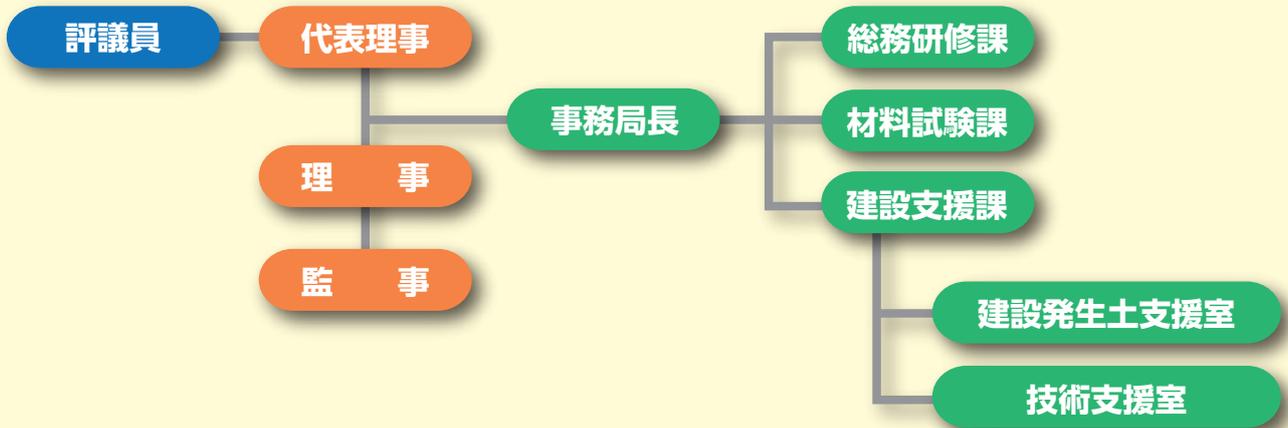
当センターでは、早期復旧を目指して全力で市町の支援に取り組んでいるところです。

今後とも、社会の変化に対応しながら事業展開を図り、「公益性」、「信頼性」、「技術力」を有する支援機関として更なる技術力の向上に努め、「地域に愛されるセンター」を目指してまいりますので、一層のご指導とご支援、更なるセンターの活用を賜りますようお願いいたします。

概要

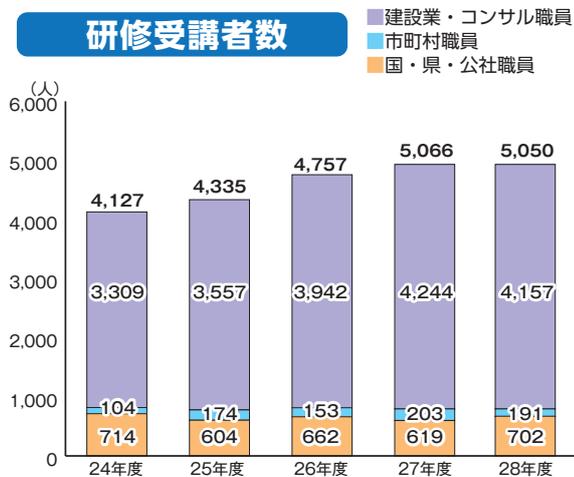
- 名称 公益財団法人鳥取県建設技術センター
- 設立年月日 昭和57年4月1日
- 基本財産 8,900,000円（自己資本6,900千円）
- 所在地 〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地

組織図

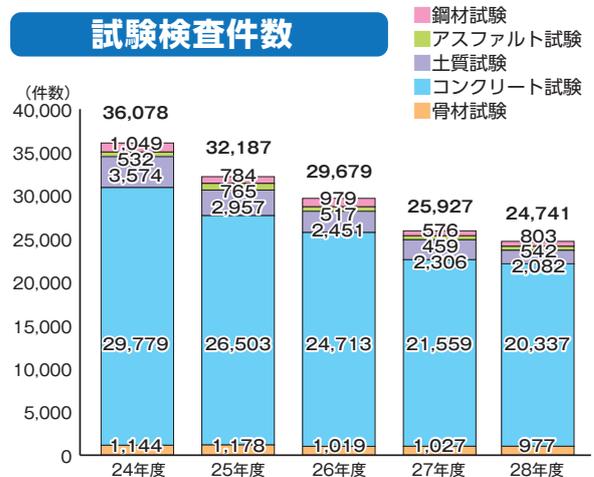


実績

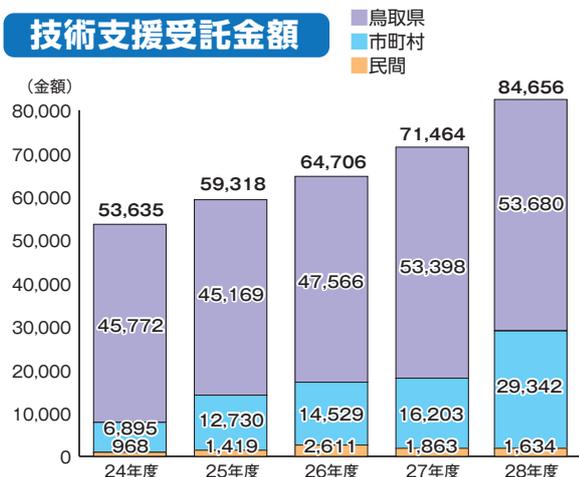
研修受講者数



試験検査件数



技術支援受託金額



建設発生土受入土量



■ 研修事業～技術者のレベルアップ～



研修事業

技術力の向上並びに若手技術者の人材育成を目的に、「技術者の健全な育成を支える研修」、「インフラ長寿命化計画を支える研修」、「若手技術者研修の拡充」の3つの柱のもと、県が進めている施策や受講生のニーズに沿った研修を開催します。

□ 自主研修 (43 研修)

(H29 年度の主な研修)

- ・ i-Construction
- ・ 豪雨災害への備え
- ・ 河川構造物の維持管理
- ・ 基礎から学ぶ土木積算
- ・ 女性が活躍する建設業
- ・ 建設業における人材育成



(災害研修)



(とっとり建設産業の魅力発信講座)

□ 鳥取県から受託研修 (21 研修)

□ とっとり建設産業の魅力発信講座 (小学校 3 校、中学校 1 校)

図書室の利用促進

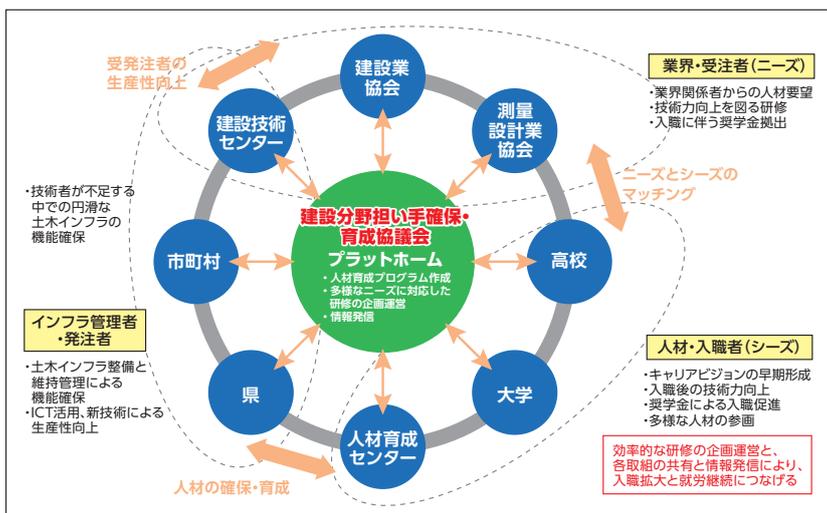
- 当センター図書室には、建設業に関する図書として、初任者向け及び専門書等を整備しています。
- 鳥取県立図書館の協力を得て、県立図書館HPに当センターの図書情報を掲載するとともに、県立図書館を経由して県内最寄りの図書館でセンター図書の貸出しが可能です。



鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会の発足 (H29年1月12日)

産官学の連携による「鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会」が発足し、建設産業の人材確保・育成に向け活動します。

【構成員】鳥取県県土整備部、鳥取県立産業人材育成センター、鳥取県教員委員会、鳥取県市長会、鳥取県町長会、国立大学法人鳥取大学
(一社) 鳥取県建設業協会、(一社) 鳥取県測量設計業協会、(公財) 鳥取県建設技術センター (事務局)



写真提供：建設工業新聞

お問い合わせ

総務研修課 ☎0858-26-6065

■試験事業～品質向上をめざして～



材料試験

骨材、コンクリート、鋼材、アスファルト、土質材料など、鳥取県土木工事施工管理基準等に基づく建設材料の品質管理試験（5試験分類 69試験項目）を行っています。当センターは、工業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）に基づく登録試験事業者（ISO/IEC 17025:2005（JIS Q 17025:2005）に適合した試験事業所）です。

【JNLA 登録試験項目】骨材－8項目、コンクリート－3項目



新たな試験項目（H29.4月）

試験	試験項目
①骨材	骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）
②コンクリート	コンクリートの残存膨張量試験（JCI-DD2法）
	コンクリートの残存膨張量試験（アルカリ溶液浸漬法）
③アスファルト	アスファルト抽出試験
	マーシャル安定度試験
④土質	土の非圧密非排水三軸圧縮試験
	土の圧密非排水三軸圧縮試験
	土の圧密排水三軸圧縮試験



コンクリートコアの膨張量測定



三軸圧縮試験機

調査研究

鳥取大学工学部と連携して、建設材料に関する調査研究を行っています。

①鳥取県からの受託研究

- ・再生砕石及び再生アスファルト合材の品質実態調査（H27～H29）

②最近の研究テーマ

- ・石炭灰による軟弱土の改良について
- ・リサイクル材を用いたポーラスコンクリートの配合設計について
- ・ひび割れ抑制対策としての膨張コンクリートの有効な施工方法について

災害協定

H29年3月に隣接県の公的試験機関である（一財）広島県環境保健協会、（公財）岡山県建設技術センターと当センターの3機関で「災害時における建設工事に係る材料試験業務の相互支援に関する協定」を締結しました。

災害時における建設工事に係る材料試験業務の相互支援に関する協定書調印式



お問い合わせ 材料試験課 ☎0858-26-6377

■技術支援事業～公共工事発注者支援業務～



技術支援事業

発注を効率的に行えるよう県・市町村公共工事の積算補助、現場技術補助、検査補助及び橋梁補修アドバイス業務を行います。また、市町村に対する発注者支援事業拡充の一環として災害復旧の技術支援を行います。

- 積算補助業務：公共工事の積算、発注用設計図書の作成
- 現場技術業務：公共工事の現場技術業務を補助し、変更設計書を作成
- 橋梁補修アドバイス業務：橋梁補修工事の積算、現場管理及び技術的アドバイス
- ドローンを活用した技術支援：ドローン（UAV）を活用した支援



(橋梁補修アドバイス)

【現在の活用】

- 公共土木施設の点検及び検査補助
- 災害時の被災状況把握
- 地元等の関係者への説明資料
- 建設関連イベント等で建設業の魅力発信 など



【今後の取組み】

- ドローンによる3次元データを現況調査から管理・更新に活用
- ⇒道路等公共施設の効率的な維持管理支援

所有ドローン

- <映像用> DJI ファントム4
- 小型なので狭い場所での撮影可能
 - 比較的操縦が簡単、軽量



- <測量用> DJI Spreading Wings S900
- オートパイロット機能
 - 6枚羽の1枚が故障しても飛行可能
 - 高画質カメラを搭載、測量用データとして活用



- 災害復旧支援：復旧工法等のコンサルタントとの協議、査定設計書作成、実施設計書作成及び現場技術業務等
- コンクリート構造物ひび割れ診断業務：コンクリート診断士が現地調査を行い、ひび割れ原因の究明と対策を提案
- その他
 - 県工事の検査補助
 - 新技術・新工法活用システム
 - 事前審査業務
 - 道路台帳整備
 - 災害応援

お問い合わせ 建設支援課 技術支援室 ☎0858-26-6324

■建設発生土事業～安全の建設発生土処理と有効利用～



建設発生土事業

公共工事から発生する建設発生土の適切な処理及び有効利用を図り、公共事業の円滑な執行により社会資本整備の推進に寄与しています。建設発生土とは、埋立や盛土の材料として土地造成などに利用できる再生資源です。

建設発生土事業所（稼働中）



事業完了後の跡地活用事例

再生可能エネルギーへの活用：太陽光発電所として活用されています。



野球場への活用：専用グラウンドとして活用されています。



お問い合わせ

建設支援課 建設発生土支援室

☎0858-26-6089

当センターホームページの紹介

ホームページアドレス

<http://www.tctcplaza.or.jp/>

(スマートフォンにも対応しています)

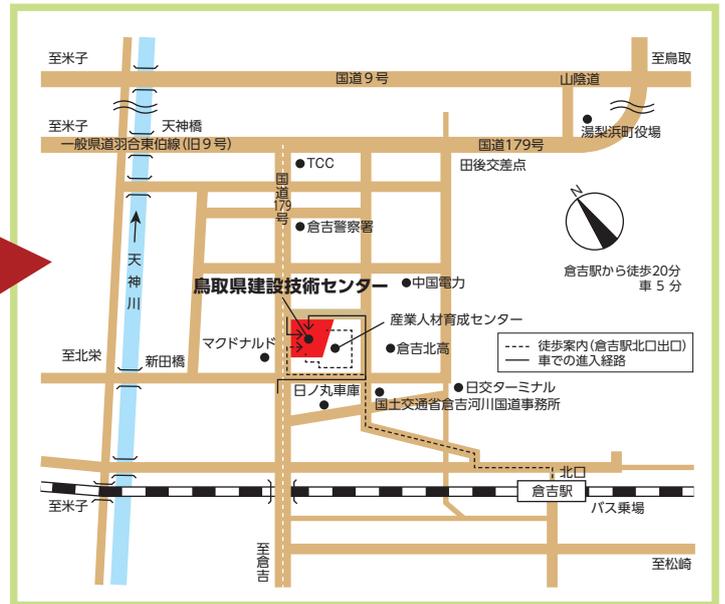


HPから申し込みできます

- 研修受講申し込み
- 材料試験申込書ダウンロード
- 建設発生土申し込み
- 研修室申し込み
- 各種情報提供



ACCESS



公益財団法人 鳥取県建設技術センター

〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地

TEL0858-26-6051 FAX0858-26-6052

- 総務研修課 / TEL0858-26-6051 FAX0858-26-6052
[研修・図書 / TEL0858-26-6065]
- 材料試験課 / TEL0858-26-6377 FAX0858-26-6052
- 建設支援課 / TEL0858-26-6089 FAX0858-26-6004
[建設発生土支援室 / TEL0858-26-6089]
[技術支援室 / TEL0858-26-6324]